

令和3年度 事業報告

令和2年初めに発生した新型コロナウイルス感染症拡大の影響は長期にわたり、令和3年度においても、デルタ株やオミクロン株による感染拡大により、日本経済や国民生活にも大きな影響を及ぼすとともに、度重なる緊急事態宣言の発令やまん延防止等重点措置の適用もあり、タクシー需要が激減し、営業収入は大幅に落ち込むなど、極めて深刻な経営環境に置かれた。

さらに、ロシアのウクライナ侵攻の影響等により原油価格が高騰するなど、タクシー業界は正に存亡の危機に瀕した。このため、山口県に対して、長引くコロナ禍の影響により大幅な減収を余儀なくされる事業者の事業継続のための支援要望や燃料価格高騰により大きな負担となっている燃料費の一部支援要望を行ったところである。

会員事業者においては、雇用調整助成金等を活用しながら、乗務員の雇用を維持しつつ、一方で、エッセンシャルワーカーとして、国民の安定的な生活の確保や社会の安定維持の観点から、万全の感染防止対策を講じ、日夜必死に事業を継続しながら、公共交通機関の一翼を担っているところである。

未だ、感染症拡大や燃料価格高騰の収束見通しが見えないが、今後も感染状況や燃料価格を注視しながら、状況に応じて、国や地方自治体等に対して支援要望を行う必要がある。

こういった中、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、取り組みの縮小や中止せざるを得ない状況において、令和6年4月から改正される罰則付き時間外労働の上限規制の実施に備え、「働き方改革関連法」に関する説明会を開催し周知を図るとともに、公共交通事業者にとって、交通安全・事故防止は、最大の使命であるという認識のもと、交通安全運動への参加や「無事故月間」を実施するなどの取り組みを行った。

また、過疎地域における「乗合タクシー」の普及・促進については、交通空白地を抱える自治体にとっては重要な課題であることから、「地域公共交通会議」等に積極的に出席し、乗合タクシーの活用促進となるよう取り組みを行った。

なお、当協会において、執行部及び専門委員会を中心に取り組んだものは次のとおり。

【新型コロナウイルス感染症拡大への対応について】

- (1) 新型コロナウイルスワクチンの優先接種に関する要望
- (2) 公益的集団接種会場への交通アクセスとしてのタクシーの活用についての要望
- (3) 山口県知事に対して新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等による支援要望
- (4) 山口県公共交通事業継続支援補助金事業の実施
- (5) 山口県公共交通燃料価格高騰対策支援補助金事業の実施
- (6) 新型コロナウイルスに係るまん延防止対策等の徹底について周知(第3版ガイドライン等)
- (7) 雇用調整助成金、持続化給付金関係等に係る情報収集及び周知
- (8) 休車の特例措置に係る適用期間等に関する周知

【ライドシェア等への対応について】

コロナ禍で動きが止まっているものの、全タク連主催の委員会等に出席し、「ライドシェア」等に関する情報把握に努めた。

【利用促進・地域交通確保対策について】

(1) 「タクシーの日」の取り組みとして「8月5日はタクシーの日」「安全で便利なタクシーをご利用ください」と印刷したウェットティッシュ（9千個）をタクシー利用者に配布し、利用促進を呼びかけた。

(2) 観光タクシー「駅から観タクン山口」（県内JR6駅起点）及び「観光スポットお手軽タクシー」（新山口駅～秋吉台経由～萩市内）を継続実施した。

【「駅から観タクン山口」令和3年度利用実績（6駅）18件】

(3) 9月から11月の観光シーズンに合わせ、山口市内の観光地を巡るコミュニティバスと周遊タクシーを組み合わせた運行により観光客の交通手段の確保と利便性の向上を図った。

【観光周遊1日乗車券】

(4) 乗合タクシー等への対応

地方自治体が主宰する地域公共交通会議等に積極的に参画し、地域住民の足の確保について協議するとともに、地域公共交通としての乗合タクシーへの転換（働きかけ）や情報交換を積極的に行った。

○地域公共交通会議等（書面協議を含む）

会 議	回 数	会 議	回 数
岩国市地域公共交通会議	5回	山口市地域公共交通会議	5回
和木町地域公共交通会議	1回	宇部市公共交通協議会	7回
周防大島町地域公共交通会議	1回	山陽小野田市地域公共交通会議	2回
柳井市地域公共交通会議	2回	下関市地域公共交通会議	3回
光市地域公共交通会議	6回	萩市地域公共交通会議	4回
下松市地域公共交通活性化協議会	3回	阿武町地域公共交通会議	3回
周南市地域公共交通会議	5回	長門市地域公共交通協議会	7回
防府市地域公共交通活性化協議会	1回	美祢市地域公共交通会議	2回

(5) ボランティア輸送への対応として、地方自治体が主宰する運営協議会に積極的に参画し、NPO等によるボランティア輸送について、道路運送法の厳格な運用を求めるとともに、タクシーによる対応の可能性を最大限追及した。

○運営協議会

会 議	回 数	会 議	回 数
田布施町福祉有償運送運営協議会	1回	防府市福祉有償運送運営協議会	1回
周防大島町有償運送運営協議会	1回	下関市福祉有償運送運営協議会	1回

【交通安全・交通事故防止について】

(1) 交通安全運動等の実施

春・秋の全国交通安全運動、夏の交通安全県民運動、年末年始の輸送等に関する安全総点

検運動を実施し、各運動の重点目標を中心に取り組んだ。

○春の全国交通安全運動

期 間 令和3年4月 6日(火)～4月15日(木) 10日間

○夏の交通安全県民運動

期 間 令和3年7月11日(火)～7月20日(火) 10日間

○秋の全国交通安全運動

期 間 令和3年9月21日(火)～9月30日(木) 10日間

○年末年始の交通安全県民運動

期 間 令和3年12月10日(金)～令和4年1月3日(月) 25日間

(2) 山口県タクシー無事故月間の実施

年末年始の輸送繁忙期である令和3年12月1日(水)から令和4年1月31日(月)の2か月間を山口県タクシー無事故月間と定め、交通事故防止活動を推進した。

(3) 研修・講習への参加

「運行管理者等講習」(基礎、一般)及び「整備管理者研修」(選任前研修、選任後研修)、「適性診断」「安全マネジメント講習」等への受講・受診について、「協会だより」等により参加の呼びかけを行い受講促進に努めた。

○運行管理者等講習(基礎)

開催日	開催地	受講者数
7月 7日～ 9日	山口市	24名
1月12日～14日	山口市	9名
計	2回	33名

○運行管理者等講習(一般)

開催日	開催地	受講者数
6月 8日	山口市	17名
8月27日	下関市	7名
9月10日	宇部市	10名
9月16日	柳井市	17名
10月28日	山口市	24名
11月26日	周南市	23名
12月17日	山口市	8名
計	7回	106名

○整備管理者選任後研修

開催日	開催地	受講者数
1月26日	山口市	29名
2月 8日	山口市	28名
計	2回	57名

○運行管理者試験（CBT試験・旅客）

開催期間	受験者数	合格者数	合格率
第1回（令和3年8月7日～9月5日）	57名	17名	29.8%
第2回（令和4年2月19日～3月20日）	52名	17名	32.7%
計	109名	34名	31.2%

○自動車運転者適性診断（タクシー事業者）

	一般	初任	適齢	特定	計
本所	35名	59名	246名	5名	345名
ナスバネット	50名	5名	82名	—	137名
計	85名	64名	328名	5名	482名

(4) FM山口の「交差点及び道路横断中の交通事故防止」「子供を交通事故から守ろう」をテーマとした「横断旗復活運動」に協賛し、設置個所や利用者が減りつつある横断旗の復活のため、「(一社) 山口県タクシー協会」の名称入り横断旗を設置し、子供を交通事故から守り、安全安心の地域づくりに寄与した。

【設置本数：令和3年度 県内 20本（宇部、下関地区において設置）】

【労務対策について】

- (1) 令和6年4月から改正される罰則付き時間外労働の上限規制の実施に備えるため、山口労働局主催の「働き方改革関連法に関する説明会」が山口県教育会館で開催され、会員事業者など14名が参加し理解を深めた。
- (2) 山口労働局による「自動車運転者時間管理等指導員」を活用したタクシー運転手の労働時間の管理について、各事業者への訪問指導を行い、乗務員の労働時間の適正管理について指導を行った。【令和3年度訪問指導実績：7事業者】
- (3) 山口県・山口運輸支局・協会等と共催で、人手不足が深刻な公共交通の担い手確保に繋げるための「公共交通担い手確保ミニフェア」を開催し、来場者に対して、やりがいや働きやすさについてアピールした。【ミニフェア来場者24名（対前年比－3）】

【特定地域特措法等への対応について】

準特定地域における適正化事業・活性化事業の取組状況に関するフォローアップ調査は、今年度の実施はなかった。

【タクシー運転者登録制度への対応】

- (1) 新規運転者講習の実施
山口県タクシー運転者登録センターにおいて、「タクシー運転者登録制度」に係る新規運転者講習を、専任講師により安全・法令・接遇教育等カリキュラムに従い誠実に実施した。
- (2) 運転者登録制度実施に伴う申請手続き
山口県タクシー運転者登録センターにおいて、「タクシー運転者登録制度」に係る事業者や運転者からあった運転者証交付申請等に、迅速に対応した。

○登録実績

項目	区分	3年度実績	2年度実績	増減
		件数	件数	件数
登録申請		92	99	-7
運転者証交付		169	196	-27
運転者証訂正		500	607	-107
運転者証再交付		3	2	1
原簿謄本交付		0	0	0
原簿閲覧		0	0	0
業務経歴証明書交付		2	0	2
乗務証交付		0	0	0
乗務証訂正		10	12	-2
乗務証再交付		0	0	0
登録取消		0	0	0
登録事項の変更	免許証の有効期間等	500	607	-107
	事業者変更（会社異動）	77	97	-20
運転者証の返納		325	427	-102

○講習受講実績（年間22回実施）

項目	3年度実績	2年度実績	増減
新規講習受講者数	86	95	-9
地理講習受講者数	5	6	-1
合計	91	101	-10

(3) 諮問委員会委員に対し、登録・講習実績等の報告を行うとともに、運転者登録制度に関する意見を伺うなど、登録事務を誠実に行った。

【広報活動について】

- (1) 交通安全運動期間中において、県民への交通安全思想の普及を図るため、ラジオ放送（FM山口、KRY山口放送）を通じ、交通事故防止を呼びかけた。
- (2) 毎月の行事、行政庁からの通達、全タク連からの指示や協会の取組内容など、タクシーを巡る状況や動きについて、毎月定期発行の「協会だより」により全会員に周知にした。
- (3) 協会ホームページの内容を充実させ、利用者が検索や閲覧しやすいものとした。

【その他】

島根原発の災害発生時における福祉タクシーによる緊急輸送に関する協定に基づき「令和3年度防災業務関係者研修」が開催される予定であったが、中止となった。